

ENEOSホールディングス株式会社

ENEOS REPORT

株主通信

2021 夏号

2020年度 ご報告

2020年4月1日

▼
2021年3月31日



証券コード 5020

ENEOSグループ理念

使命

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。

エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

大切にしたい価値観

社会の一員として	■ 高い倫理観	誠実・公正であり続けることを価値観の中核とし、高い倫理観を持って企業活動を行います。
	■ 安全・環境・健康	安全・環境・健康に対する取り組みは、 ^{いのち} 生命あるものにとって最も大切であり、常に最優先で考えます。
人々の暮らしを支える存在として	■ お客様本位	お客様や社会からの期待・変化する時代の要請に真摯に向き合い、商品・サービスの安定的な供給に努めるとともに、私たちがだからできる新たな価値を創出します。
	■ 挑戦	変化を恐れず、新たな価値を生み出すことに挑戦し続け、 ^{こんにち} 今日の、そして未来の課題解決に取り組みます。
活力ある未来の実現に向けて	■ 向上心	現状に満足せず、一人ひとりの研鑽・自己実現を通じて、会社と個人がともに成長し続けます。

グループ理念に込められた思い

限りあるエネルギー・資源・素材の効率的・安定的な供給を通じて、活力ある未来づくりに貢献すること。それは、社会やそこで働き、暮らす皆様一人ひとりの今と未来を見つめることから始まります。私たちは、日々の企業活動における創造と革新を通じて、社会や人々の暮らしの今を支え、未来をより良く変える力になりたいと考えています。

目次

- | | | | |
|---|-------------------------------------|----|-----------------------------------|
| 2 | 株主の皆様へ | 10 | 第三者からのESG評価(2021年3月現在) |
| 3 | 社長メッセージ | 11 | 2020年度決算(IFRS)の概況 |
| 5 | 第2次中期経営計画(2020-2022年度)の見通し | 12 | 各事業別営業利益(2019-2020年度実績・2021年度見通し) |
| 6 | 主要な事業の進捗 | 13 | News Flash |
| | ENEOSグループのカーボンニュートラルへの取り組み | 14 | 会社情報 |
| 7 | 特集 CO ₂ フリー水素サプライチェーンの構築 | 15 | 株主情報 |
| 9 | ダイバーシティ&インクルージョンの推進 | | |

本ENEOS REPORTIには、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、(1)マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化 (2)新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う経済活動への影響 (3)法律の改正や規制の強化 (4)訴訟等のリスク などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

株主の皆様へ



代表取締役社長
社長執行役員

大田勝幸

代表取締役会長
グループCEO

杉森務

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期における世界経済は、期中において、各国の経済下支え策や経済活動の段階的な再開を受け、持ち直しの動きが見られましたが、下期にかけて、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により、本格的な回復には至りませんでした。

当社グループにおいても、新型コロナウイルスの感染拡大による影響はこれまで経験したことのない厳しいものであり、この影響が2022年まで継続した場合、第2次中期経営計画に掲げた経営指標の達成にも大きな影響が出る見通しです。

一方で、事業を取り巻く環境としては、脱炭素・循環型社会の進展、デジタル革命の進展、ライフスタイルの変化など、当社グループが長期ビジョンで想定する世界観に向けた変化が継続しておりますので、これらの長期トレンドを見据えて策定しました第2次中期経営計画の事業戦略や投資計画に沿って、引き続き基盤事業の競争力強化や成長事業の育成、事業ポートフォリオの改革への取り組みを加速させてまいります。

当社グループは、これからも社会に必要とされる企業であり続けるために、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を徹底し、国民生活および経済の安定のうえで欠かせないエネルギー・素材の安定供給を社会的な使命として、これを着実に果たすとともに、持続的かつ安定的な成長を見据え、抜本的な改革を着実に推進いたします。

今後とも、皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月

■ 社長メッセージ

長期ビジョンに掲げるありたい姿を実現するため、
第2次中期経営計画の各施策に
着実に取り組んでまいります。

代表取締役社長 社長執行役員 大田 勝幸



● 2020年度の連結業績

2020年度の連結業績は、売上高7兆6,580億円(前期比△2兆3,538億円)、営業利益2,542億円(同+3,673億円)、在庫影響*を除いた実質営業利益2,155億円(同+1,188億円)、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,140億円(同+3,019億円)となりました。

*在庫影響：在庫の評価によって発生する会計上の損益

● 2020年度の主な取り組み

2020年度は、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底しながら、第2次中期経営計画に沿った各施策を着実に遂行しました。

〈エネルギー事業〉

石油精製販売事業では、製造・輸送・販売の各現場において新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら操業・運営を継続するとともに、さらなる競争力強化に取り組みました。生産面では、サプライチェーン全体の競争力強化を図るべく、中国石油国際事業日本株式会社との合弁会社(大阪国際石油精製株式会社)が運営していた大阪製油所の精製機能を停止し、同社が運営する製油所を千葉製油所に変更しました。さらに、2021年10月を目途に知多製造所の製造機能を停止し、また、2022年10月を目途に根岸製油所の原油処理装置の一部および潤滑油ベースオイル製造装置を廃止することを決定しました。販売面では、セルフSS(サービスステーション)ブランド「EneJet」の

拡大、キーホルダー型のスピード決済ツール「EneKey」の発行強化に加え、Webカーメンテナンス予約システム「エネア予約」をDr.Drive店舗を中心にスタートさせました。

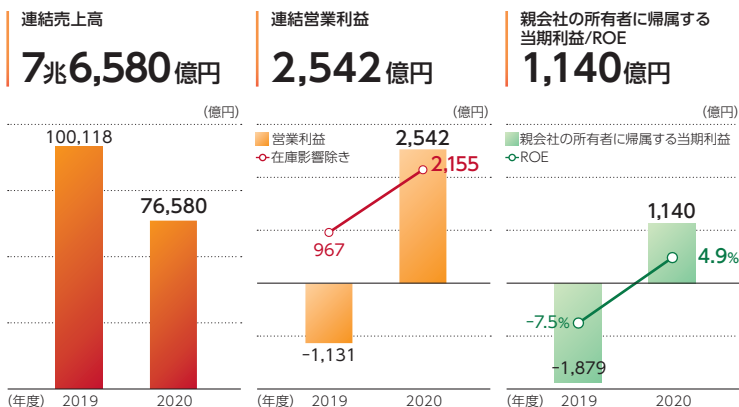
成長事業では、脱炭素・循環型社会の到来、デジタル革命の進展およびライフスタイルの変化を見据え、長期的展望に立った施策に取り組みました。再生可能エネルギーでは、室蘭バイオマス発電所で商業運転を開始したほか、国内外でメガソーラー・陸上風力・洋上風力発電事業へ参画し、また、再生可能エネルギーを活用したCO₂フリー水素サプライチェーンの構築に向けて、サウジアラビアの国営石油会社であるサウジアラムコ社との協業検討に関する覚書を締結しました。デジタル技術では、安定・効率操業の確立に向けて、AIを活用したプラントの自動運転技術の開発に取り組みました。

また、2021年5月には、素材事業のコアとなる技術立脚型事業の獲得・拡大を目的に、JSR株式会社から、合成ゴムの製造・販売を行うエラストマー事業を買収することについて、同社と契約を締結しました。当該買収によって、素材分野における新たな技術および研究開発機能を獲得し、素材事業を育成します。

〈石油・天然ガス開発事業〉

石油・天然ガス開発事業では、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底し、石油・天然ガスの安全・安定生産を維持しています。

また、既存事業の価値を最大化すべく、デジタル技術を活用し、



	2020年度実績	2021年度見通し	
前提条件	為替(円/ドル)	106	105
	原油価格(ドル/バレル)	45	60
	銅価(セント/ポンド)	312	340
数値指標等	売上高(億円)	76,580	95,000
	営業利益(億円)	2,542	2,600
	在庫影響除き営業利益(億円)	2,155	2,300
	親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)	1,140	1,400
	ネットD/Eレシオ(倍)	0.6 (2021年3月末)	0.6 (2022年3月末)

埋蔵量評価や開発計画の最適化にかかる技術評価の高精度化や高速化を実現しました。

2021年4月、環境対応型事業を迅速かつ集中的に推進する組織として、JX石油開発株式会社に「サステナブル事業推進部」を、また同社技術戦略部の中に「CCS/CCUS*グループ」を設置しました。

これにより、CCS/CCUS関連技術の情報一元化と、技術活用の推進を進めるとともに、グループの成長事業でもある「環境対応型事業」推進を加速させ、今後の新たな事業展開を図ります。

※CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)：二酸化炭素回収・貯留
 ※CCUS(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)：二酸化炭素回収・有効利用・貯留

〈金属事業〉

金属事業では、サプライチェーンの中核である銅製錬事業にとって、カセロネス銅鉱山の高品位かつ不純物の少ない銅精鉱の確保は極めて重要であるとの判断のもと、同鉱山の共同出資者である三井金属鉱業株式会社および三井物産株式会社から、両社保有の全権益を譲り受けました。また、CO₂総排出量の大幅な削減に寄与するため、2021年1月、カセロネス銅鉱山において使用する電力全量を再生可能エネルギー由来に切り替えました。

製錬・リサイクル事業では、佐賀製錬所向けのリサイクル

原料の増集荷・増処理を目的に、大分港大在西地区においてリサイクル原料等の物流拠点を建設することを決定しました。

機能材料・薄膜材料事業については、IoT・AI化の進展に伴う需要拡大に対応するため、圧延銅箔・高機能銅合金条と半導体用スパッタリングターゲットの生産能力を2017年度比で約30%増強しましたが、テレワークなどを背景とした通信インフラやモバイル端末の需要増大による半導体市場の成長加速を踏まえ、半導体用スパッタリングターゲットについてはさらに生産能力を現行から約30%引き上げることを決定しました。

● 2021年度通期連結業績の見通し

新型コロナウイルスの影響を踏まえた直近の販売状況などを織り込み、売上高 9兆5,000億円(前期比+1兆8,420億円)、営業利益 2,600億円(同+58億円)、在庫影響を除いた実質営業利益 2,300億円(同+145億円)、親会社の所有者に帰属する当期利益 1,400億円(同+260億円)としています。

2021年度は原油価格の回復による良化を見込む一方で、新型コロナウイルスの感染拡大影響は続いており、石油製品販売数量は新型コロナウイルス影響発生以前のレベルまでは戻らないと見込んでいます。前期に続き、厳しい経営環境が継続する見通しですが、経費の削減などあらゆる施策を講じてさらなる利益の上積みを目指してまいります。

第2次中期経営計画(2020-2022年度)の見通し

長期ビジョンの実現に向けて、第2次中期経営計画で策定した事業戦略や投資計画を着実に進め、成長事業の育成や事業ポートフォリオの改革を加速します。

第2次中期経営計画においては、新型コロナウイルスによる影響を2020年度上期まで織り込んでいましたが、足下においても感染拡大の収束を見通すことが困難な状況です。この状況が2022年度まで継続した場合の営業利益へのマイナス影響は、中計3カ年累計で5,000億円規模になると想定しています。こうした想定を踏まえ、追加的なコスト削減、資産売却の追加などを行う予定ですが、現時点では、在庫影響を除いた中計期間3カ年累計の実質営業利益は7,600億円(中計比△2,100億円)となる見通しです。

長期ビジョンで想定した脱炭素・循環型社会の進展等が世界的に具体化しつつあります。当社グループは第2次中期経営計画の事業戦略と投資計画に沿って、成長事業の育成や事業ポートフォリオの改革を加速します。

● 中計見通しの主な前提

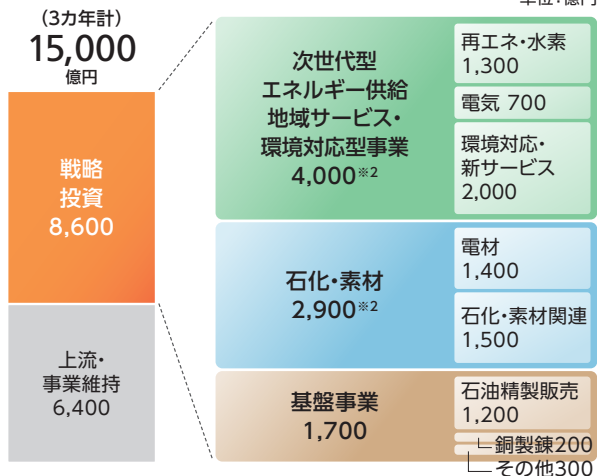
- ✓ 新型コロナ影響：2022年度まで影響が継続
- ✓ 利益計画：追加的なコスト削減
- ✓ 投資計画：事業戦略に沿って実施
- ✓ キャッシュフロー：資産売却の追加

	2020実績	2021見通し	2022見通し
為替(円/ドル)	106	105	105
原油価格(ドル/バレル)	45	60	60
銅価(セント/ポンド)	312	340	320

主な経営指標

	中期経営計画	現時点の見通し
営業利益 (在庫影響除き)	(3カ年計) 9,700億円	(3カ年計) 7,600億円
フリー キャッシュフロー	(3カ年計) 1,500億円	(3カ年計) 0億円
ネット D/Eレシオ※1	0.8倍以下	0.8倍以下
ROE	10%以上	7%
親会社の所有者に 帰属する 当期利益	(3カ年計) 5,100億円	(3カ年計) 4,300億円

設備投資計画



※1 ハイブリッド社債の資本性調整後ネットD/E(発行額の50%を資本として算出)

※2 事業環境変化やM&A機会等に応じ、計画総額の範囲内においてフレキシブルに投資を実行

株主還元 (方針に変更なし)

当社は、株主への利益還元が経営上の重要課題であるとの認識のもと、2021年度では1株当たり年間22円の配当を予定しています。また2020-2022年度の3カ年累計で在庫影響除き当期利益の**50%以上**を株主に還元する計画です。

主要な事業の進捗

次世代型エネルギー供給

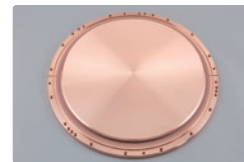
- **室蘭バイオマス発電所の新設**
国内で最大規模となる室蘭バイオマス発電所の商業運転を開始しました。
- **街づくりの推進**
静岡県との連携により、清水製油所跡地を中心とした次世代型エネルギー供給プラットフォームの構築を目指します。トヨタの実証都市「Woven City」において、再生可能エネルギー由来のグリーンな水素を供給していきます。



エラストマー製品の用途例

石化・素材

- **エラストマー事業の買収**
素材事業のコアとなる技術立脚型事業の獲得・拡大を目的に、JSR(株)から、主に合成ゴムの製造・販売を行うエラストマー事業の買収に関わる契約を締結しました。
- **半導体用スパッタリングターゲットの生産能力の増強**
モバイル端末や通信インフラの需要増大による半導体市場の成長加速を踏まえ、生産能力を現行から約30%引き上げることを決定しました。



半導体用スパッタリングターゲット

環境対応型事業

- **金属リサイクル原料の集荷・処理能力増強**
台湾リサイクルセンターの増強を実施したほか、大分港への物流拠点新設、佐賀関製錬所での原料前処理設備の増設を決定しました。



チリのカセロネス銅鉱山

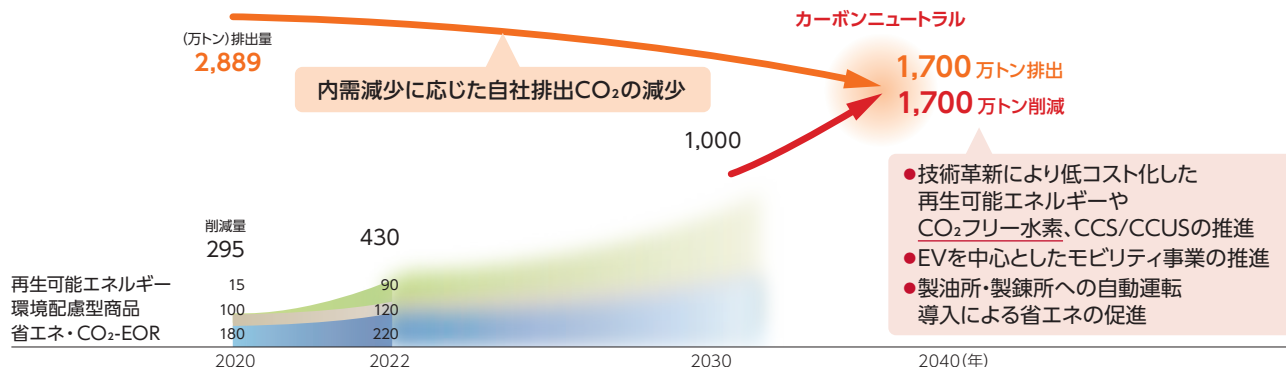
銅資源・製錬

- **カセロネス銅鉱山の全権益取得**
高品位でグリーンな銅精鉱の確保を目的に、共同出資者が保有する同鉱山の全権益を取得しました。

ENEOSグループのカーボンニュートラルへの取り組み

(2020年5月発表)

エネルギーを扱う当社グループは気候変動問題を経営上の重要なリスク・機会と認識しており、これに真摯に向き合い、その解決を通して存在価値を認められてこそ、将来にわたり継続して利益を出すことができると考えています。この方向性を明確に示すために、2040年に向けた長期ビジョンにおいて自社排出分のカーボンニュートラルの追求を表明しています。



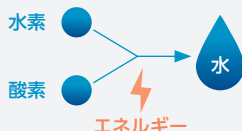
エネルギーとしての水素

特徴1

利用時に、CO₂を発生しない環境にやさしいクリーンなエネルギーです。



水素と酸素を反応させて、エネルギーを取り出す際、排出されるのは水だけです。



特徴2

多様な一次エネルギー資源から製造可能。製造段階においてCO₂が発生する水素、CO₂が発生しない水素(CO₂フリー水素)があります。

CO₂フリー水素サプライチェーンのイメージと当社の強み

【製油所】を輸入CO₂フリー水素供給の、【SS(サービスステーション)】を街のCO₂フリー水素供給のハブとして、発電所・工場・家庭・

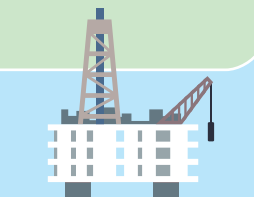
海外

海外の再生可能エネルギー、未利用エネルギーから安価なCO₂フリー水素を製造。



CO₂フリー水素

CO₂フリー水素の大規模輸送*。
製油所で受入、貯蔵。



CO₂フリー水素

低品位な化石燃料等の未利用エネルギー

CCS/CCUS技術によるCO₂の固定

強み

既存の製油所設備・施設(輸送船、港、棧橋、貯蔵タンク)を活用

近年、エネルギーの安定的確保や環境への配慮、そして社会的な省エネルギー意識の高まりに伴い、水素が注目されています。エネルギーとしての水素の特徴と、CO₂フリー水素サプライチェーンの構築にあたって発揮される当社の強みをご紹介します。

水素の可能性

化石燃料に代わる次世代のエネルギーとして可能性を秘める水素。安定的に供給するためには、海外で製造された安価な「CO₂フリー水素」を、国内へ輸送・貯蔵・利用するためのサプライチェーンを確立する必要があります。

ENEOSグループと水素

当社グループは、エネルギーの安定供給という使命のもと、石油精製の脱硫プロセスにおいて長年にわたり水素を取り扱ってきたノウハウと、全国の製油所とSSネットワークを活用しながら、競争力と経済合理性を大前提に、CO₂フリー水素サプライチェーンの構築を推進します。



強み

サプライチェーン
全体を統括

FCモビリティユーザー等のお客様に水素を供給します。

製油所内での自家利用のほか、近隣需要家、水素ステーションにCO₂フリー水素を安定的に供給。

国内

【製油所】

- 石油製品の脱硫
- 発電

強み

水素を安全に
取り扱う
ノウハウ

水素発電

強み

製油所近隣の
大規模需要家に
直接供給

製鉄所(水素還元)

家庭・オフィス



モビリティ



強み

全国の
SSネットワークの活用



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

当社グループは、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を長期ビジョンの「ありたい姿」を実現するための重要な経営戦略のひとつと位置付け、様々な施策に取り組んでいます。

女性活躍

意欲ある女性従業員が自身のキャリアをしっかり考え、成長を目指すことを支援するため、男性従業員を含めた意識改革や諸制度の整備を進めています。

このような取り組みが評価され、経済産業省・東京証券取引所が作成し、女性活躍推進に優れた企業を構成銘柄とする「なでしこ銘柄」に選定されました。



障がい者活躍

障がいを1つの個性と捉え、その個性や適性に応じた職場配置の推進とともに、障害者職業生活相談員や職場適応支援者を設置などの支援を行っています。

2020年度の障がい者雇用率は法定雇用率を上回る2.36%です。

また、障がい者の活躍支援に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に署名・参加しています。



LGBT (性的マイノリティ)

当社グループのENEOSは、研修などを通じ従業員の性的マイノリティへの理解を促進すると同時に、当事者が相談できる窓口を設けています。

このような取り組みが評価され、work with Pride*が策定するLGBTなどの性的マイノリティに関する取り組み評価指標「PRIDE指標2020」のゴールド賞を受賞しました。

※企業等の団体において、LGBT等の性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体



第3者からのESG評価(2021年3月現在)

当社は、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が選定する4つのグローバル指数全ての構成銘柄に2年連続で選定されました。



FTSE Blossom
Japan

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Russell社が作成し、総合的なESG評価が優れた日本企業を構成銘柄とするインデックスです。



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI社が作成し、総合的なESG評価が優れた日本企業を構成銘柄とするインデックスです。



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

MSCI社が作成し、ダイバーシティの実践に優れた日本企業を構成銘柄とするインデックスです。



S&P/JPXカーボンエフィシエント指数

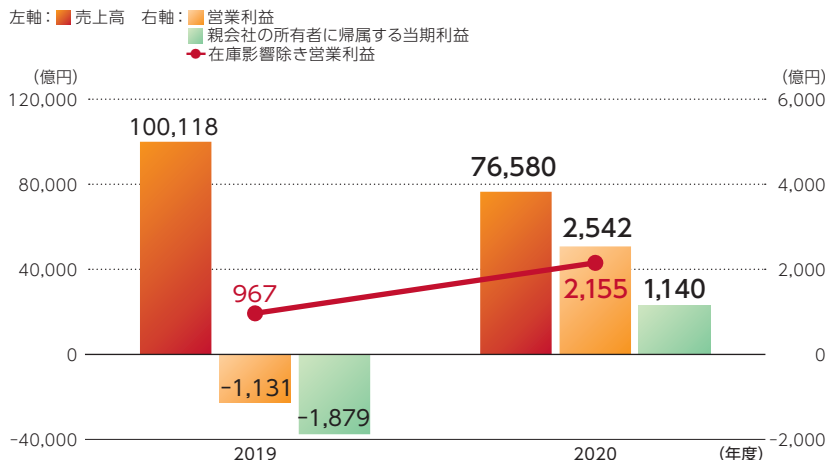
S&P社と東京証券取引所が共同で作成し、環境情報の開示状況や炭素効率(売上高当たり炭素排出量)に着目して構成銘柄のウェイトを決定するインデックスです。

THE INCLUSION OF ENEOS Holdings, Inc. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF ENEOS Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

2020年度決算(IFRS)の概況

決算情報詳細は当社ホームページに掲載しています。

連結業績



【2020年度の主な増減要因(前期比)】

売上高

原油価格の下落や販売数量の減少などにより、2兆3,538億円の減収。

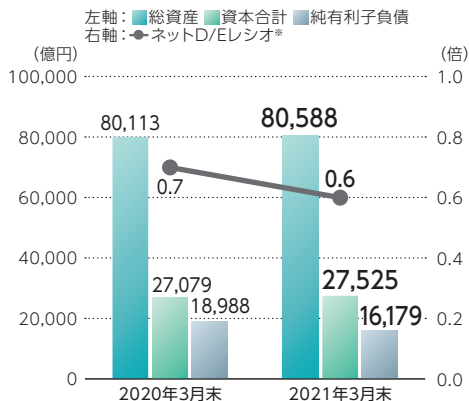
営業利益

新型コロナウイルス影響に伴う石油製品の販売減少があったものの、2019年度末の資源価格急落に伴う多額の在庫影響損失の反転に加え、堅調な国内石油製品マージンによる下支えや銅価格の上昇、機能材料・薄膜材料の増販があり、営業利益は前期比3,673億円の増益。

親会社の所有者に帰属する当期利益

営業利益の増加を受け、3,019億円の増益。

連結バランスシート



連結キャッシュフロー

(億円)

	2020年度 (実績)
営業利益(在庫影響除き)	2,155
減価償却費	3,269
運転資金増減ほか	1,367
営業キャッシュフロー (休日影響除き)	6,791 (5,723)
投資キャッシュフロー	△3,068
フリーキャッシュフロー	3,723
配当ほか	△1,786
ネットキャッシュフロー	1,937

【2020年度の主な要因】

ネットキャッシュフローは1,937億円。

純有利子負債は、ネットキャッシュフローのプラスなどにより、前期比2,809億円の減少。

資本合計は、当期利益1,140億円の計上などにより、前期比446億円の増加。

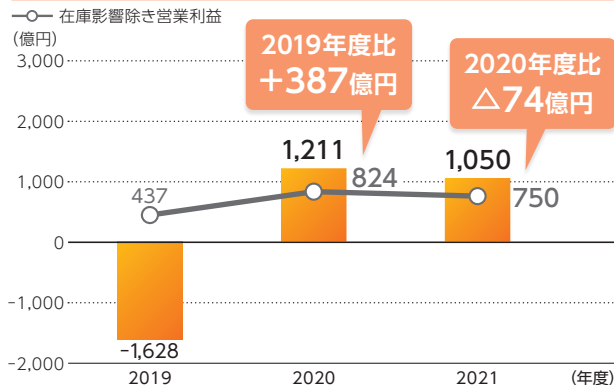
結果、ネットD/Eレシオは0.6倍。

※ネットD/Eレシオ=純有利子負債÷資本合計

	2019年度	2020年度
為替レート(円/ドル)	109	106
原油価格(ドバイスポット、ドル/バレル)	60	45
銅価(LME、セント/ポンド)	266	312

各事業別営業利益 (2019年度-2020年度実績・2021年度見通し)

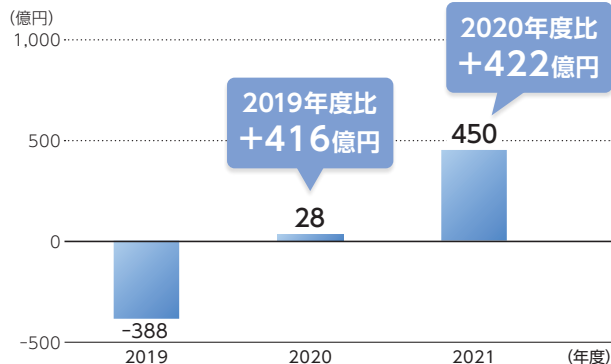
エネルギー事業



2020年度実績

在庫影響を除いた実質営業利益は、新型コロナウイルス影響を受けた石油製品などの販売数量減少がある一方、堅調な石油製品マージンに支えられ、387億円の増益。

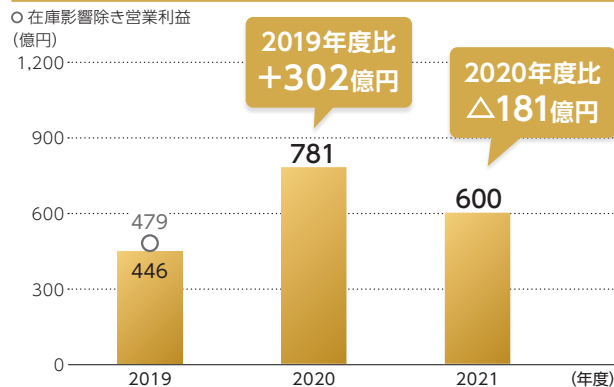
石油・天然ガス開発事業



2020年度実績

資源価格が低迷したものの、2019年度減損損失の反転があり、416億円の増益。

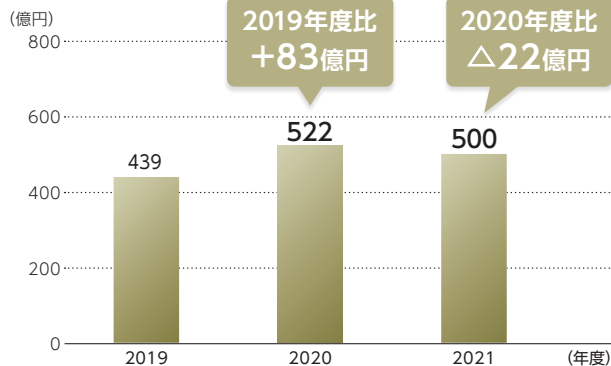
金属事業



2020年度実績

新型コロナウイルス影響に起因してカセロネス銅鉱山の生産量が減少した一方、銅価の上昇、データ通信需要の増大に伴う機能材料・薄膜材料の販売数量増加などにより302億円の増益。

その他事業



2020年度実績

不動産開発事業の大型案件売却などにより、83億円の増益。

News Flash ニュースフラッシュ

● ENEOS HD・ENEOS ● JX石油開発 ● JX金属

2020年11月 ● 東京大学とデジタルオイル技術に関する研究を開始

● LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で最高評価「ゴールド」を受賞

12月 ● カセロネス銅鉱山における再生可能エネルギー由来電力への全量切り替えを決定

● (株)ZMPおよび(株)エニキャリアと
自動宅配ロボットを活用したデリバリーインフラ構築に向けた協業を開始

● 関西電力(株)と共同で兵庫県赤穂郡の太陽光発電事業に参画

● 半導体用スパッタリングターゲットの生産能力増強を決定

2021年1月 ● 2022年10月を目前に、根岸製油所の一部装置の廃止を決定

● 自動宅配ロボットによる複数店舗からのデリバリー実証実験を開始

● MULエナジーインベストメント(株)が開発を進めている(仮称)山形尾花沢風力発電事業に参画

2月 ● 製造機能の停止を決定した知多製造所の製造設備の出光興産(株)への譲渡に関する基本契約を締結

3月 ● 超小型EVシェアリングサービス実証実験の開始

● 令和2年度「なでしこ銘柄」に選定

● 日立造船(株)および伊藤忠商事(株)が進めるむつ小川原風力発電事業の共同開発に参画

● 台湾リサイクル拠点の集荷・処理能力を増強

● サウジアラムコ社とのCO₂フリー水素・アンモニアのサプライチェーン構築に向けた
協業検討に関する覚書締結

● インテル社より2020年プリファード・クオリティー・サプライヤー(PQS)賞を受賞

4月 ● 「ENEOSカーリース」の全国展開を開始

● (株)Preferred Networksと
新物質開発や材料探索を加速する汎用原子レベルシミュレータを提供する合併会社の設立に合意

● 米国テキサス州におけるアドバンスド・パワー社が進める太陽光発電事業への参画を決定

5月 ● トヨタ自動車(株)が建設を進めるWoven Cityでの水素エネルギー利活用について具体的な検討を開始

● JSR(株)のエラストマー事業の買収に関わる契約を締結

● 上限3,000億円の公募ハイブリッド社債の発行を公表

会社情報

社名 ENEOSホールディングス株式会社
(英文: ENEOS Holdings, Inc.)

本店所在地 〒100-8161 東京都千代田区大手町一丁目1番2号

設立年月日 2010年4月1日

資本金 1,000億円

連結対象会社数 677社 [2021年3月31日現在]
(連結子会社506社、持分法適用会社171社)

連結従業員数 40,753名 [2021年3月31日現在]

役員 (2021年6月25日以降)

取締役

代表取締役会長 グループCEO	杉森 務
代表取締役社長 社長執行役員	大田 勝幸
取締役 副社長執行役員 社長補佐	横井 敬和
取締役 副社長執行役員 社長補佐(環境安全部・品質保証部)	岩瀬 淳一
取締役 副社長執行役員 社長補佐(秘書部、経営企画部、経理部、財務部、インベスター・リレーションズ部、人事部、総務部、法務部) 秘書部 管掌	谷田部 靖
取締役 副社長執行役員 CDO (Chief Digital Officer) 社長補佐(監査部、内部統制部、広報部、IT戦略部、危機管理部、調達戦略部、未来事業推進部) IT戦略部、未来事業推進部 管掌	齊藤 猛
取締役(非常勤) JX石油開発(株) 代表取締役社長 社長執行役員	細井 裕嗣
取締役(非常勤) JX金属(株) 代表取締役社長 社長執行役員	村山 誠一
社外取締役	大田 弘子
社外取締役	宮田 賀生
社外取締役	工藤 泰三

取締役監査等委員

取締役(常勤監査等委員)	太内 義明
取締役(常勤監査等委員)	西村 伸吾
社外取締役(監査等委員)	西岡清一郎
社外取締役(監査等委員)	三屋 裕子
社外取締役(監査等委員)	岡 俊子

執行役員

常務執行役員 経理部、財務部、インベスター・リレーションズ部、広報部、危機管理部 管掌	田中聡一郎
常務執行役員 監査部、内部統制部、調達戦略部、環境安全部、品質保証部 管掌	染谷 喜幸
常務執行役員 経営企画部、人事部、総務部、法務部 管掌	椎名 秀樹
執行役員 未来事業推進部長	矢崎 靖典
執行役員 IT戦略部長	下屋敷 武
執行役員 経理部長	四谷 九吾
執行役員 経営企画部長	須永耕太郎
執行役員 人事部長	君島 崇史

IRカレンダー (2021年7月~12月) (予定)

7月	
8月	8月中旬 ◎2022年3月期 第1四半期決算発表
9月	9月末 ◎中間配当基準日
10月	
11月	11月中旬 ◎2022年3月期 第2四半期決算発表
12月	12月上旬 ◎2021冬号 株主通信発行

▶IRホームページ(株主・投資家情報)のご案内

ENEOSグループの最新ニュース、決算情報、CSR活動の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載していますので、ご利用ください。

ENEOSホールディングス

検索

<https://www.hd.eneos.co.jp>

株主・投資家情報



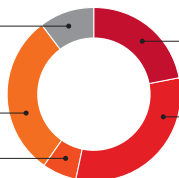
株主情報

株式の概要 (2021年3月31日現在)

株式の状況	発行可能株式総数	8,000,000,000株
	発行済株式総数	3,230,282,649株
	株主数	417,864名

所有者別株式分布状況

証券会社	8.35%	個人	22.11%
自己株式	0.23%		
その他	1.65%		
外国人	29.91%	金融機関	31.49%
その他の法人	6.26%		

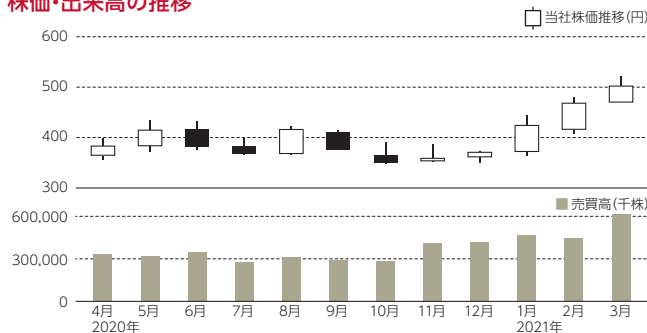


大株主(上位10位)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	267,252	8.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	175,122	5.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	64,862	2.01
SMBBC日興証券株式会社	52,604	1.63
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	50,323	1.56
JPモルガン証券株式会社	49,300	1.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	46,139	1.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	44,799	1.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口6)	40,890	1.26
高知信用金庫	40,570	1.25

(注)当社は自己株式7,283,840株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
1単元の株式数	100株
公告掲載方法	電子公告による。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行うこととする。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱所(郵便物送付先、照会先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間: 平日9:00~17:00

● **住所変更、単元未満株式の買取りおよび売渡請求等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三井住友信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。本件に関するお問い合わせ先は、上記株主名簿管理人となります。

● **未払い配当金の支払いについて**
上記株主名簿管理人にお申し出ください。

● **「配当金計算書」について**
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。また、株式数比例配分方式をご選択いただいております株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、税額や実際のお受け取り金額等につきましてはお取引の証券会社等へお問い合わせください。

